

## 『私が韓国に行きたい理由・母の目線から』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」第 31 号

機関誌第 4 号が発刊されました。今回の特集は『セルラスの多言語活動 3 原則』

(『人と向き合い、人と一緒に』を前提に、『想像力と創造力』『音声』『必然性』)についてです。

この 3 原則は、難しいものではなく、それぞれの身近な体験の中にあるのでは？ということで、

各ピアザで話題に出したり話し合ってみました。すると・・・出る出る！

今回は全国のメンバーから寄せられた、多言語活動の中での面白いつづきもたくさん載っています。

読みやすいレイアウトになっているので、ぜひご覧ください。

ホームページからも、過去の機関誌も含め、ご覧いただくことができます。

⇒<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

### ◇◇わたしが韓国に行きたい理由◇◇

「韓国の友だち、アンニョンハセヨ!」青少年ホームステイ交流の出発がいよいよ今月末に迫ってきました。

小学4年生以上の青少年が、一家庭に一人で5泊6日、ホームステイするプログラムです。

今回も前回同様、申込書と一緒に提出された作文の中から、山田さん(小4)のものを、

お母様のコメントも合わせて掲載したいと思います。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラス メルマガ』第 31 号の目次です。

---

#### 【 目次 】

《1》	わたしが韓国に行きたい理由	東京都杉並区在住 山田さん(小4)
《2》	母の目線	山田さんのお母様
《3》	セルラス インフォメーション	

---

#### 《1》 わたしが韓国に行きたい理由

東京都杉並区在住 山田さん(小4)

私がどうして韓国ホームステイに行きたいのかというと、去年兄が韓国ホームステイに行く時に、私と母も、兄と別の韓国の家庭にホームステイしたのですが、その時とても後悔したからです。

私は、すごくやる気があって楽しみにしていました。ところが、韓国に行ったら急にはずかしくなってしまう。

全然言葉が出ず、ホストのモニカに話しかけられても母を見ることしかできませんでした。

ホストファミリーのアップー(父)と話した時も何を言っているのか分からなかったし、理解しようとしなかったので、分かることも分かりませんでした。

ホームパーティーがあった時も、せつかくみんなといっぱい話すチャンスがあったのに、わたしは話すこと

から逃げていました。

たくさん話したかったし、話が出来ると行って行ったのに全くできませんでした。

今回行ったら、こわがらず、はずかしがらず、コミュニケーションをとって、

いっぱい話をしてきたと思います。

気をつけることはたくさんあるけど、私は特に気持ちが大事だと思いました。

言葉がだめでも、逃げずにジェスチャーでがんばって話をしたいです。

前回の韓国ホームステイでは全然だめだったので、かならずリベンジしたいと思っています。

それに、前回とはちがい4年生になったので一人で行けるし、日程も長くなったので、

私は韓国ホームステイにぜったいに行きたいと思いました。

悔いのないように思いっきり楽しんでこようと思います。

## 《2》 母の目線

山田さんのお母様

セルラスに入会してから、約2年半が経ちます。

息子が学校から持ち帰ったチラシを見て、講演会に参加したことがきっかけでした。その頃、私は子育てに悩み、周りに流されるようにたくさんの習い事をさせていましたが、何か心が落ち着きませんでした。

そんな時に聞いた理事長の「違いは宝物」「共感力」「コミュニケーション力」のお話。

多言語を通じての人材育成の活動にとっても感動して、この環境で子供を育てたい！とすぐのような気持ちで入会しました。

なかなか変化の兆しが見えない子供たちにやきもきしつつ2年くらい過ごしましたが、ある日、娘がピアザでやったワンマンショーをきっかけに、子供たちも互いに自信をつけていくようになりました。

この夏の韓国ホームステイ交流の話が出たとき、私としては、去年の暮れにホームステイに行ったばかりだし、5年か6年生になってから行ってもいいかなあという気持ちでいましたが、娘からは「行きたい！」と即答だったので、行きたいと思う時に行かせようと思い申込をしました。申込をするための作文には、前回のホームステイでの後悔の気持ちが書かれていて、自分がいけなかったのは、気持ちが逃げてしまって相手の話をちゃんと分かろうとしなかったから、分からなかったんだということを書いていました。とても頼もしいと思いましたし、気持ちが逃げていた自分に気づき、こんな風に感じる心が育っていたということにびっくりしました。

「行きたい！」表明をしてからの娘はとてもエネルギッシュで、母や兄がピアザと一緒に行けなくても、週3回ピアザに一人でどンドン出かけるし、アルバムをせっせと作ってみたり、「行きたい」気持ちが伝わってきます。娘を見ていると、どんなことも子供にとっては成長のきっかけで、自分で考えて突き動かされた行動には本当にパワーがあるなと感じます。

セルラスでは子供たちもプレゼンテーションをすることが良くあります。

プレゼンをするには、自分の心と向き合い、感じていることや考えを整理して発言しなければなりません。これをセルラスの子供たちは自然にやっているのですから、本当にすごいと思います。

娘も前回のホームステイの体験を通して、自分に向き合う経験ができたことが本当に良かったと思います。今度はどんなことを感じてくるのか、帰ってきてから話を聞くのがとても楽しみです。私もそうでしたが、聞いてくれる人がいて、そしてその感想を聞いて改めて自分の考えを整理したり、気づくこともあります。聞いてくれる人がたくさんいること、これもセルラスの素晴らしい環境だと思います。

### 《3》 セルラス インフォメーション

#### ◆ 2016 年 多言語教育講演会・セミナーのお知らせ ◆

次回講演会・セミナーは、各地で10～11月頃に開催する予定です。開催が決まり次第、お知らせしていきます。

\*\*\*\*\*

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育講演会・セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。